

2022年10月12日

2050年カーボンニュートラルに向けた取組みとして  
公共施設への再生可能エネルギー100%電気導入を拡大し  
市施設全体の使用量の約73%に達しました

逗子市

- 逗子市では、2050年までの脱炭素社会の実現を目指し、温室効果ガス排出量の削減のため、「公共施設の電力調達の方針」を策定し、令和3年度から公共施設で再生可能エネルギー100%電気への切替えを進めてきましたが、10月1日から新たに、市役所を含めた5施設で切り替えを実施しました。

- 対象施設及び導入期間（契約期間）

- ・ 環境クリーンセンター、浄水管理センター、新宿中継ポンプ場  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)
- ・ 沼間小学校、久木小学校、小坪小学校、池子小学校、  
逗子中学校、久木中学校、沼間中学校  
(令和4年6月1日～令和5年5月31日)

【再生可能エネルギー100%電気の新規導入施設】

- ・ 市役所、消防本部、療育教育総合センター、  
体験学習施設スマイル、小坪小学校区コミュニティセンター  
(令和4年10月1日～令和5年10月31日)

- 年間使用電気量

約793万kWh（令和3年度実績、市施設全体の使用量1,088万kWhの約73%）

- 削減される年間CO<sub>2</sub>の量

約3,760t-CO<sub>2</sub>

- 再生可能エネルギー100%電力

コスモ石油マーケティング株式会社の電力プラン「コスモでんきビジネスグリーン」による、風力電源由来の環境価値を持つ二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出実質ゼロの電力

※ 本件は、コスモ石油マーケティング株式会社においてもプレスリリースを行っています。

本件に関するお問い合わせ先：

環境都市部環境都市課 青柳・坂本

電話：046-873-1111 内線 451